



いろは呑龍新聞

2019年(令和元年)6月号
第42号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

地下作業室探索(マンロック→地下作業室)

今回は地上からマンロックに入り、沈下掘削を行う地下作業室内を探索してきました。

6月3日に地下作業室への圧気を開始したため、今後地下作業室への入室は条件を満たした作業員に限定されます。

①マンロック

地下作業室に圧気を行った場合、この場所で加圧及び減圧を行い、作業員の体を地下作業室の中と外で変化する気圧の環境に慣らします。

定員は最大12名ですが、部屋の中はかなり狭いです。

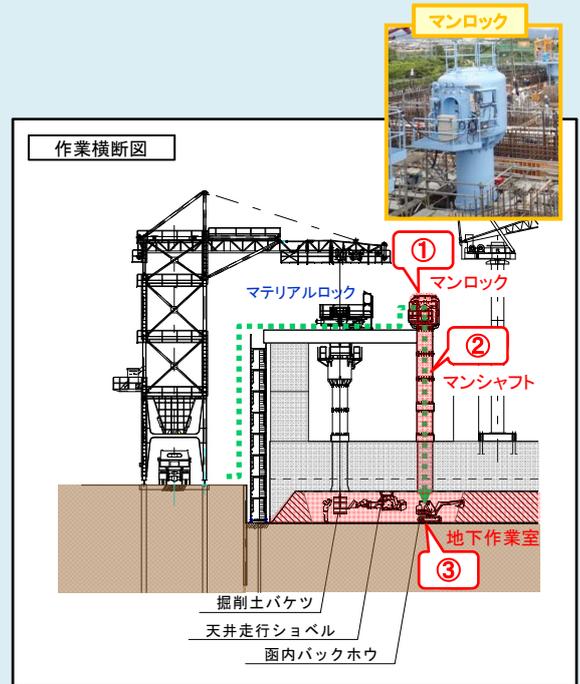
②マンシャフト

らせん階段になっており、途中に気圧を遮断する蓋が設置されています。

③地下作業室

天井にレールが取り付けられており、走行ショベルは天井のレールを移動します。

天井までの高さは約2.5mあり、床面を掘削します。



①マンロック内



②マンシャフト内



③地下作業室内



③地下作業室内

夜間掘削作業開始

夜間の掘削作業を開始しました！

騒音等、周囲の環境に配慮しながら工事を進めていきます。

夜間の作業中は現場のライトアップにより、鉄鋼構造が内部の光で照らされ、昼間とは違った幻想的な雰囲気になります。

5月29日には現場の近くにある京都競馬場で京都芸術花火2019が開催され、現場のタワークレーン越しに花火が上がり、工事期間中の今しか見ることのできない風景を写真に収めることができました。



夜の現場は雰囲気がいいね！
花火はクレーンに花が咲いているみたいだ。



現場状況(昼)



現場状況(夜)



呑龍ポンプ場と打上花火

